

# 令和8年度 福井市足羽小学校スクールプラン

## <福井市学校教育目標>

「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」

## <福井市教育方針>

学びをつなぐ・未来につなげる  
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

## <光陽中学校区教育>

今日的な教育課題の解決に向けて連携を深める

## <学校教育目標>

「生きる力」を身に付け、たくましく未来を拓く児童の育成

## <めざす学校像>

- 児童にとって【楽しい学校】
- 保護者にとって【安心安全な学校】
- 教職員にとって【働きがいのある学校】

## <めざす児童像>

- すすんで学びよく考える子
- すすんで助け合い思いやりのある子
- すすんできたえががんばりぬく子



## <児童の実態>

- ・与えられた課題や役割を真面目に取り組んでいる
- ・明るく元気で、活発に活動している
- ・人前で発表するなど、自己表現が苦手(自信がない)
- ・気持ちの切り替えがうまくできない
- ・自己肯定感が低い

## <研究主題>

主体的に学ぶ児童の育成 ～ 仲間とのつながりを通して考えを深める授業づくり ～

## <足羽っ子につけたい力(めざす姿)>

### ① 課題をもち探究する力

#### 興味・関心・意欲

興味あることに好奇心をもち、自ら課題を見出し、工夫して取り組むことができる。

#### 粘り強さ

課題に対して、最後まで粘り強く取り組むことができる。

### ② 自分も相手も大切にできる力

#### 自信

成功体験を積み重ね、自分の考えに自信をもち、行動にうつすことができる。

#### 思いやり

寛容性をもって相手に接し、いろいろな考えや価値観をもつ友達と共生することができる。

### ③ 成功に向けて挑戦する力

#### 向上心

難しいことや苦手なことに工夫しながら最後まで挑戦し続けることができる。

#### 試行錯誤

現状に満足せず、新たな課題を見つけ、よりよくしていこうと工夫することができる。

重点目標

【「できるようにになりたい」「やってみよう」と意欲的に取り組もうとする心の育成】  
【伝え合い・学び合いを通して、思考を深めようとする態度の育成】

具体的な取組

- 学ぶ楽しさが実感できる授業
  - ・課題設定や展開の工夫、振り返りの活用
  - ・ICT機器を活用した授業やユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業
  - ・体験、体感できる活動の導入
- 伝え合い学び合う対話型の授業
  - ・目的や課題に応じたペアやグループでの対話

数値目標

- ・授業がよくわかる 90%以上
- ・自分の考えをもち、聞いたり話し合ったりしている 90%以上

【自分に自信をもち、積極的に自己表現をしようとする態度の育成】  
【自分とは異なる他者を受け入れ、共生しようとする心の育成】

- ポジティブ教育・道徳教育・人権教育の推進
  - ・レジリエンスやポジティブシンキングの向上
  - ・相手を受け入れる寛容性の育成
- 縦割り活動や異学年交流の充実
  - ・他者との交流を通して、自己肯定感や自己有用感の向上
  - ・多様な考え方に触れ、よりよい人間関係の構築

- ・学校が楽しい 93%以上
- ・みんなで何かをするのは楽しい 95%以上
- ・道徳の時間には考えを深めることができた 90%以上

【難しいことにもあきらめず、積極的に挑戦する心の育成】  
【夢や希望をもち、自己実現に向けて努力する心の育成】

- めあてや振り返りを大切にした教育活動
  - ・めあてをもって授業や活動に取り組み、振り返りをして次に生かす活動サイクルの定着
- キャリア教育の推進
  - ・夢へのパスポートやキャリア教育プログラムの効果的な活用
  - ・地域の魅力が感じられる活動

- ・授業を主体的に取り組んでいる 85%以上
- ・将来の夢や目標を持っている 90%以上

## 基本的生活習慣の確立

- 「足羽スタンダード」を活用し、学習ルールや学習習慣の定着を図る
- 目や歯の健康、食習慣など、子どもの実生活に即した保健指導の充実や運動に親しむ機会の設定を通して、心身ともに健康な生活習慣の定着を図る
- ICTの活用や情報モラル教育の実施、スマートルールの定着を図り、情報活用能力を向上する
- 毎月のアンケートや個人面談を実施し、いじめや不登校の未然防止に努める

## 家庭・地域との連携

- 「中学校区家庭教育スタンダード」を活用し、家庭生活習慣の定着を図る
- 支援が必要な児童に対して、保護者と共通理解を図り、チームでの対応や外部機関との連携を通して適切な支援をする
- 地域の人材や教育資源を積極的に活用し、地域と関わる教育活動を推進する
- 各種おたよりやホームページなどで情報発信を積極的に行い、教育活動の様子や成果を広く周知する

## <業務改善のための取組>

- ・ノー残業デー(水曜日)における18時退庁の徹底
- ・職員の連絡等においてグループウェアの活用

- ・会議等の精選並びに終了時刻の設定
- ・授業時数の見直し
- ・学校行事等の見直しと精選

- ・繁忙期における業務推進日の設定
- ・学校運営支援員の活用